

天井裏に段々
 ともも名をさす
 張天井のうへ
 うぬりーく
 やま飯と水俵
 小岩見立たが
 山屋虫殺まの
 嵐子いせ
 古紙屑の巻
 山花も十枝の
 吉野がしほ
 とつるるる
 便ハがふ白糸



此洗るるを
 美とつる
 たる物好れは
 不吉本の解花
 も香るるんまが
 う廿日娘女の
 よれる髪を
 紙のたこ
 のま申す油
 志するいま
 一めれ志す
 え結のより
 とけぬ心の目の



張左

廿日娘